

## 宇治のあれこれ

### 宇治の温泉話

伊勢田は昔、淀の管轄下だった。巨椋池に面した伊勢田村水田で漁業権を持っていた淀の漁民と耕作権を巡った争いが頻繁に起こっていた。漁民が魚の仕掛けを施せば、農民は仕掛けを取り外す。こんなことが繰り返し行われていた。沖の巨椋池の風景は、濁った水の養分から水生植物と鳥の宝庫となり、景勝地として貴族に愛されていた。大雨の後、安田村は東の伊勢田、小倉とは水で分断されて久御山方面へのみ交通が可能だった。茶栽培は水の土壌と相性が良く、伊勢田は昭和まで製茶業が盛んで集落の四分の一が茶業家だった。製茶の最盛期の初夏、伊勢田の西方、久御山の人々が朝早くに東、伊勢田村をみると、村が白い雲に覆われていたという。これは、製茶に火を使うため。伊勢田の名は伊勢の皇太神宮の御料田（神に奉げる米、酒）に由来すると言われているが、この地は水害が多く米の収穫高は低かった。

### 宇治民話 「大盤ぶるまい」

農耕の神さんをまつる作田神社は、いまは伊勢田神社の境内にあるけど、昔は井尻にあったんや。巨椋池に通じる道筋の大きな森の中にあってな、毎年正月には、「お縄さま」いうて村中総出で大きなしめ縄にのうて、村を練り歩いたんや。綱引きもあって、稲作の豊凶を占ったという話や。祭り見物人たちにも無礼講で酒をふるまったそうで、大酒飲みの男が、その話を聞いて「正月から、ただ酒が飲める。わしなら、なんぼでも飲める」といさんでかけた。男が作田神社へつくと、さっそく酒を勧められた。平気な顔で、ぐいとあける。間髪入れずに、あふれるようにつがれる。ぐいぐい飲んでいるうちに、ひっくり返ってしもうて気が付いたらあくる朝やったそうなの。

**The future belongs to those who believe in the beauty of their dream.**

*Quote of the day*

インターナショナルの日曜宇治ぶら歩きを月一程度、少人数で集まっています。（無料）宇治で英語を話したい方はミートアップで**FROM YOU TO JAPAN**の検索を。ハローだけでもいいですし、外国人の話を聞きたいだけでもOKです。

宇治にまつわる昔話（古代から近代）を文学者と一緒に採集、編集する民話の会を月一、少人数（無料）で行っています。自宅でお寿司が作れるようになる出張寿司教室（有料）も併せてご案内させていただきます。

<寄付のお願い>

ゆうちょ銀行 普通預金 記号番号 **14400-50902561** 名義 **FROM YOU TO JAPAN**  
他銀行からゆうちょ銀行へ振込み 四四八店 **5090256** 名義 **FROM YOU TO JAPAN**

質問、批判の連絡は下記よりご遠慮なく。関係のない話も大歓迎です。  
事務作業のお手伝いも募っています。

宇治市明星町**3-11-221 NOBU**（吉國光伸）  
**24-9322**

YOUTUBE「宇治のあれこれ」で検索

AS **FROM YOU TO JAPAN**

fromyoutojapan@gmail.com



**NOBU**

表紙 説明

中面 市政

裏面 宇治のこと

私は宇治の市政を知りません。知らないので発信をして、より「知ろう」と思いました。この案内は月一回を目途とします。ご意見、ご批判、広く受け付けます。勉強物の書籍、リンクのご提供お待ちしています。私の活動に好感を持たれた方からのメッセージも大歓迎です。

fromyoutojapan@gmail.com

宇治の市政を知ろうとしてから、いろんな人と路上で話をします。ご年配の方は市政以外にも、昔の話をして下さいます。宇治に詳しい方は宇治の都市伝説を語ってくれます。「寺院、茶業界が宇治を牛耳っている」、「10円玉に平等院が選ばれた訳」、「スパイ養成所が存在した」等、興味を掻き立てられる話ばかりです。老若男女問わず、話す時間がある方、人と関わりたいと思う方、お話ししましょう。

# 今から気にする 宇治市政

From You To Japan

**VOL.4**  
**JUL .2020**

- 1 分かりやすく市政を伝える
  - 2 20,30,40代が市政を知る、参加のきっかけに
  - 3 安全に自分の市政意見を表明できる場の提示
- + 10代の方へ。あなたが将来、市政がわかるために

**市政は理解するのではなく、参加するもの**  
＜一部の熱狂市民と多数の沈黙市民＞

10年後の宇治市にどうあってほしいか、要望、考えがあるなら、市政に参加しましょう。お願い事を他人や市議会議員に「任せっぱなし」にしないことです。

「他人任せ」の多数市民（全市民の**7割**）  
「議員任せ」の一部市民（全市民の**3割**）

私たちは市政の関心を「他人任せ」か「議員任せ」にしています。**30**年前からの不景気と人口減（財政減、労働力減）で、私たち自らが市政に関わる力を高める必要が出てきました。あなたの市政参加がなければ、偏った施策（観光、新規転入者への補助等）だけに特化する町へと変化していくからです。求められているのは二つの事です。①他人任せの多数市民は、選挙投票やアンケートに答える行動が必要。②議員任せの一部市民は、他人と意見を合意させる取り組みが必要。「他人任せ」も「議員任せ」も改める事で、従来からの**A**党対**B**党の構図が変わり、未来の宇治が現在とは違う、市民の合意で形成された町に変わります。

## 議会の実情

私たちの現状「他人任せ」と「議員任せ」が、市長と議員の都合で市政が運営される結果に繋がっています。（この二者間は、本来、住民全体のための施策の提案と決定を行っている間柄です）現在の市長と議員は共に「大多数の市民は黙っていて、一部の熱狂的な市民だけが声を挙げる」と解釈し、彼らは市政に参加しない市民、意見を述べる市民の双方を巧みに利用しています。私たち市民に今、求められているのは、意見を述べる事と、私たち自身で意見をまとめる事です。そして、私たちが市政に参加する姿を市長と議員に見せる事です。

これだけは  
読んで。

ココ！

**市政の動向を知り自分の利になる行動を取る。**

- 9.問題を考え解決策を唱える
- 8.自分で情報を調べる
- 7.支持する（議員、政党）
- 6.同調者の存在を知る
- 5.意見する（投票、意見書等）
- 4.意思表明できる場を知る
- 3.情報を受け取る
- 2.他人を当てにする
- 1.無視する

高い

労力

低い